



山南・山北地区 『人・農地プラン』

1

令和3年3月17日
香南市農林水産課

山南・山北地区の人と農地の課題と背景

2

■課題

山南・山北地区は、高齢化が進行しつつあり、しかも後継者の不足により、耕作放棄地が増加していることが課題です。

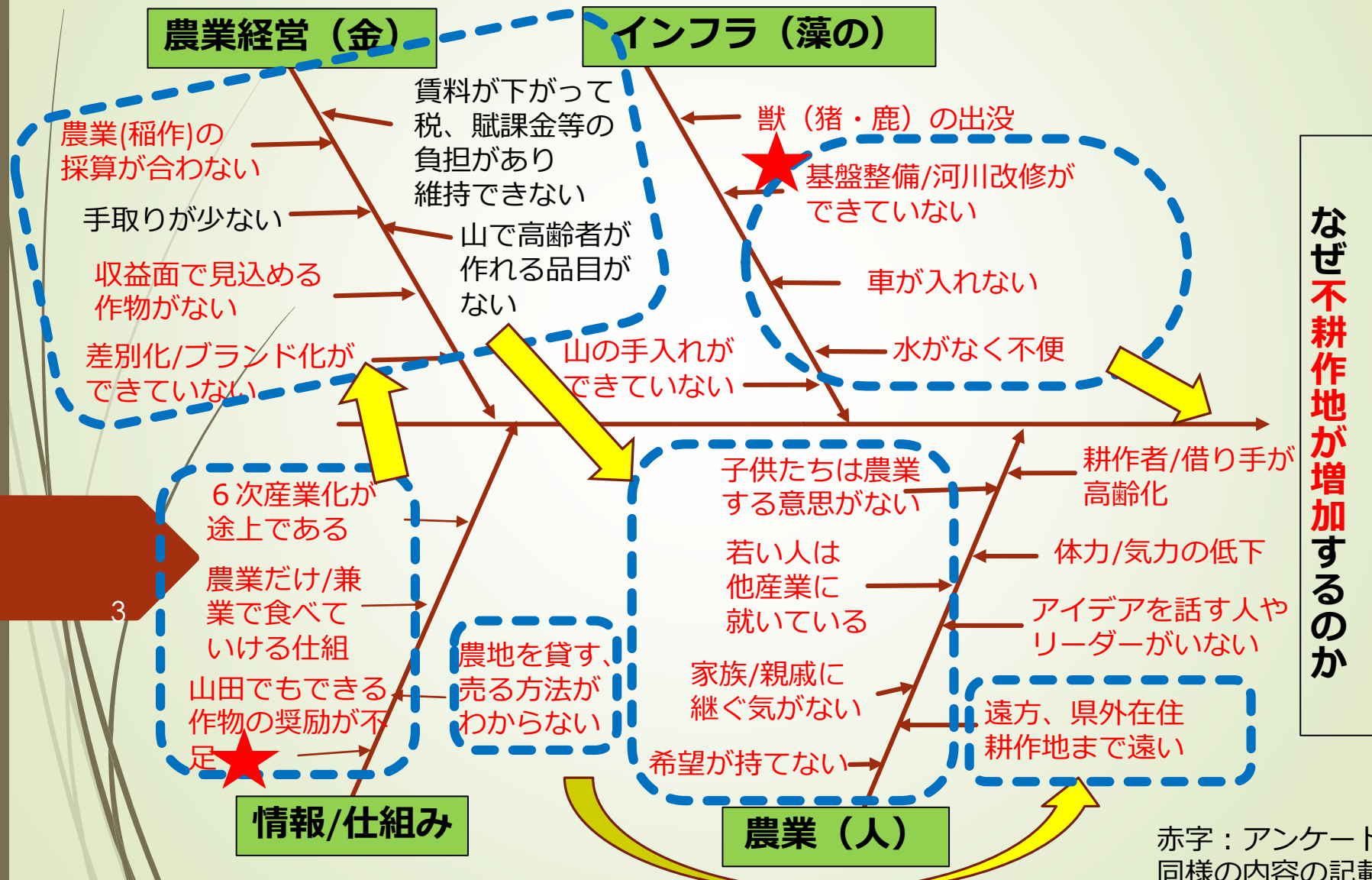
■課題とした理由/背景

・山南地区 営農アンケートより：
子供はいても農業後継者ではない状況も含め、**後継者不在割合が65%**ある。耕作者のみならず、受け手も高齢化が進んでいる。こうした状況下で、**農業者の19%**は高齢化等による**離農や経営縮小**を考えている状況にある。

・山北地区 営農アンケートより：
子供はいても農業後継者ではない状況も含め、**後継者不在割合が54%**ある。耕作者のみならず、受け手も高齢化が進んでいる。こうした状況下で、**農業者の約29%**は高齢化等による**離農や経営縮小**を考えている状況にある。

地区の課題の要因

- 結果に至る原因を人、モノ、カネ、情報の4要因に分解
- 重要と思われる要因に対して対策を検討（★の項目）



なぜ不耕作地が増加するのか

赤字: アンケートに同様の内容の記載あり

課題対応方針/施策

4

■方針（基本的な考え方）

・山南・山北地区は、後継者の不足が課題であり、その要因改善となるインフラの整備（水田地帯）、情報取得（基盤整備対象外での適切な耕作品目）の強化を通じて、地区の農地の維持につなげる。

■施策（取組み）

方針	施策 (なにを)	目標 (どこまで)	担当（誰が）			期限 (いつ)
			地区 農業者	行政 農業委員会	農業公社 振興C,JA、他	
後継者の確保を通じて農地の維持	・地区の農業インフラ改善促進	・ 基盤整備 に向けた検討着手（地域の農業者の合意形成）	◎	建設課 ◎		R3. 通年
	・事例を通じた収益改善のノウハウ獲得	・山間部の農業を含めた 農業経営の研修会 開催依頼/受講	◎		農業振興C JA、他 ◎	R3. 通年
	・ 補助金情報 の展開/把握を通じた農業経営の向上	・HPでの 補助金情報 の展開/取得（ 基盤整備済地区以外での耕作情報 など）	○	農林水産課 ◎		R3. 上期

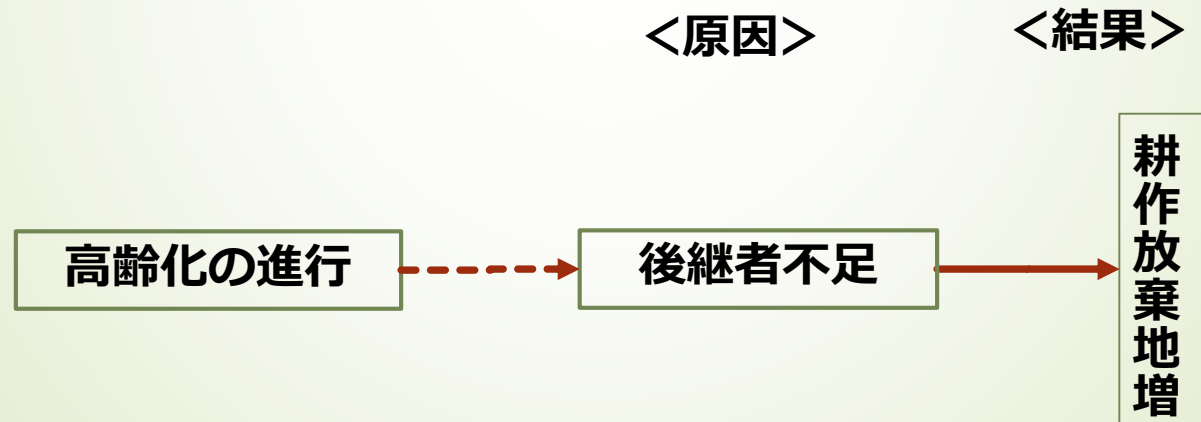
<参照資料>

- 以下は、プラン原案策定のための参照資料です。

■ 昨年実施した営農アンケートより下記が山南・山北地区の課題であることが読み取れる。（アンケートの集計結果参照）

- 高齢化が深刻化している状況で、しかも後継者も不足している。
- 耕作放棄地が増加している状況がある。

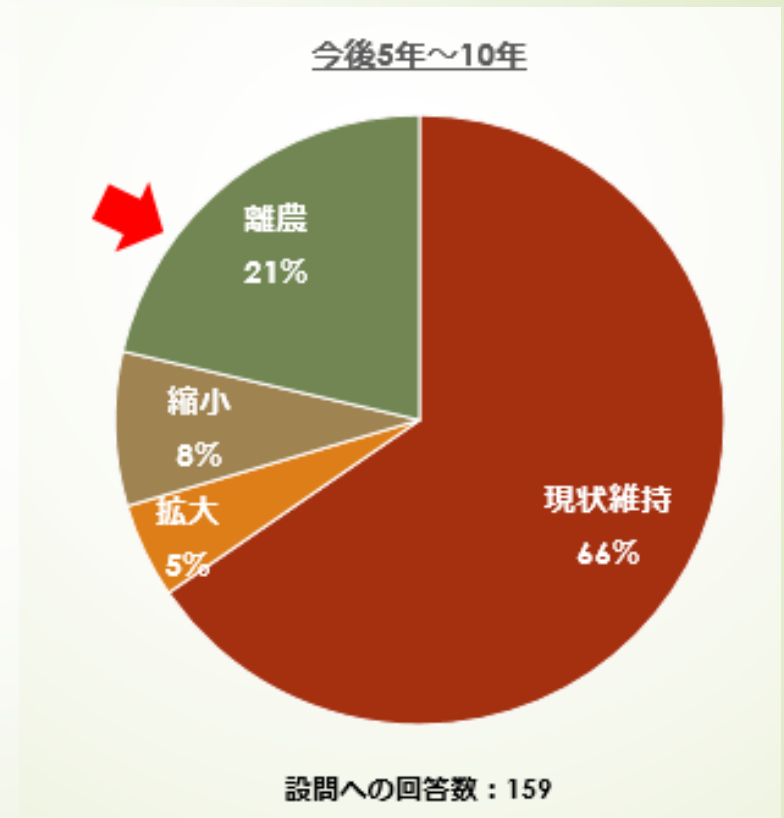
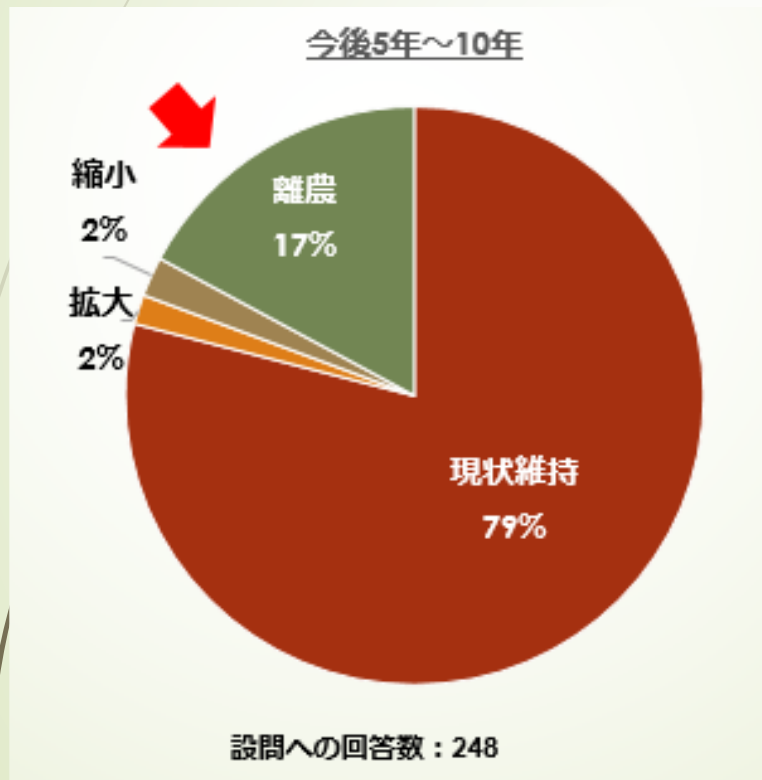
■ これらを原因/結果の形に表現すると次のイメージとなる。



今後の営農の意向

山南地区

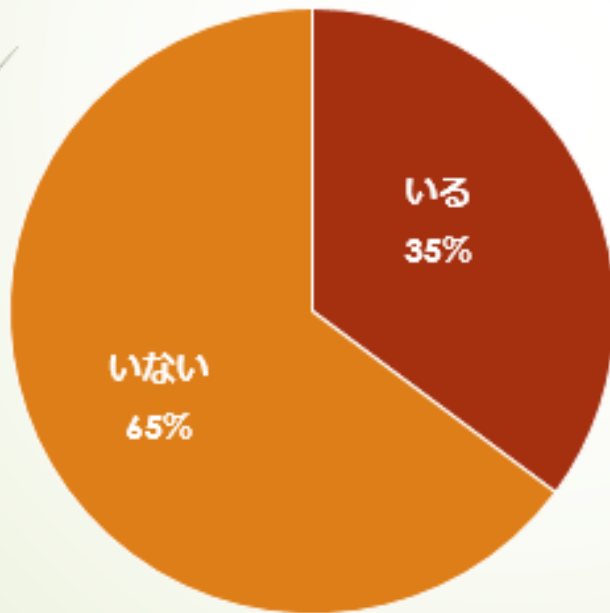
山北地区



農業後継者の有無

山南地区

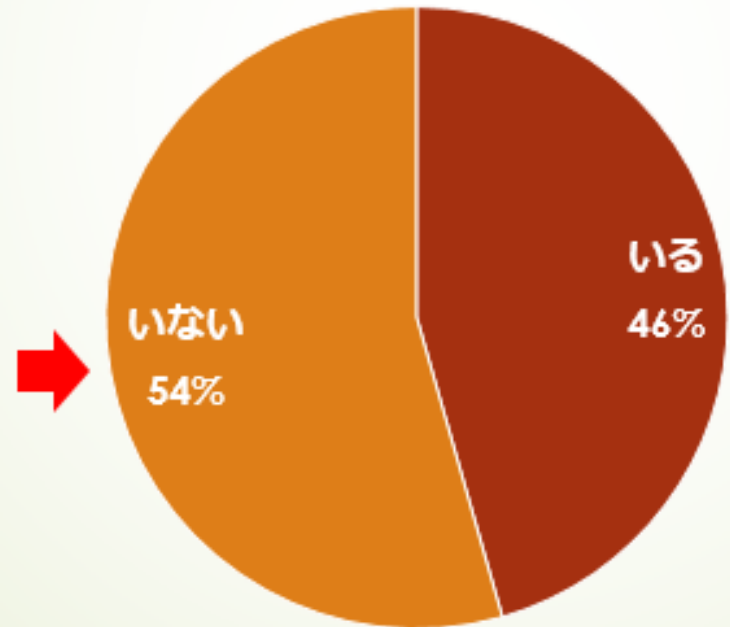
農業後継者



設問への回答者数 : 216

山北地区

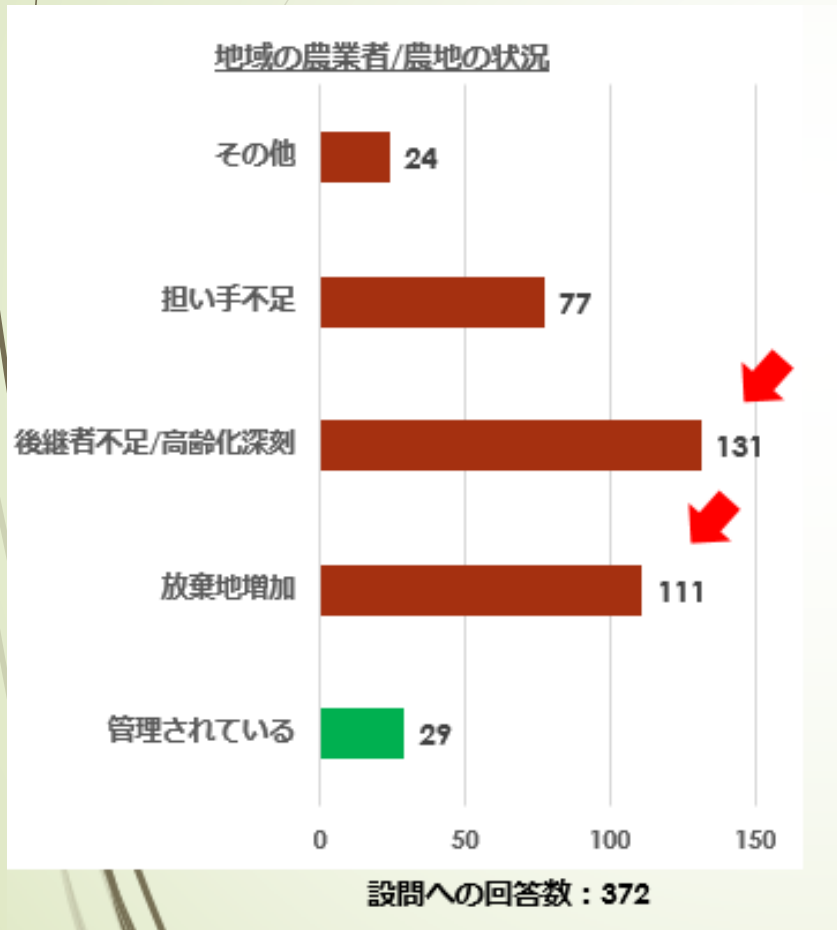
農業後継者



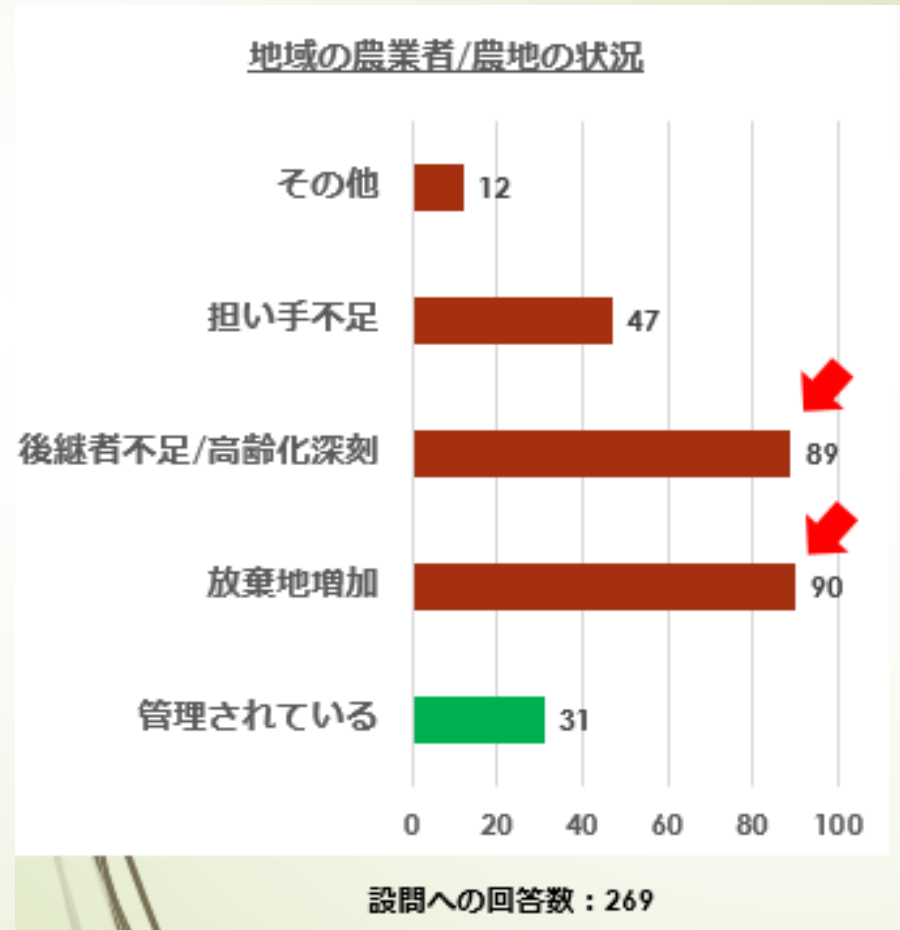
設問への回答者数 : 169

地域の農業への認識

山南地区

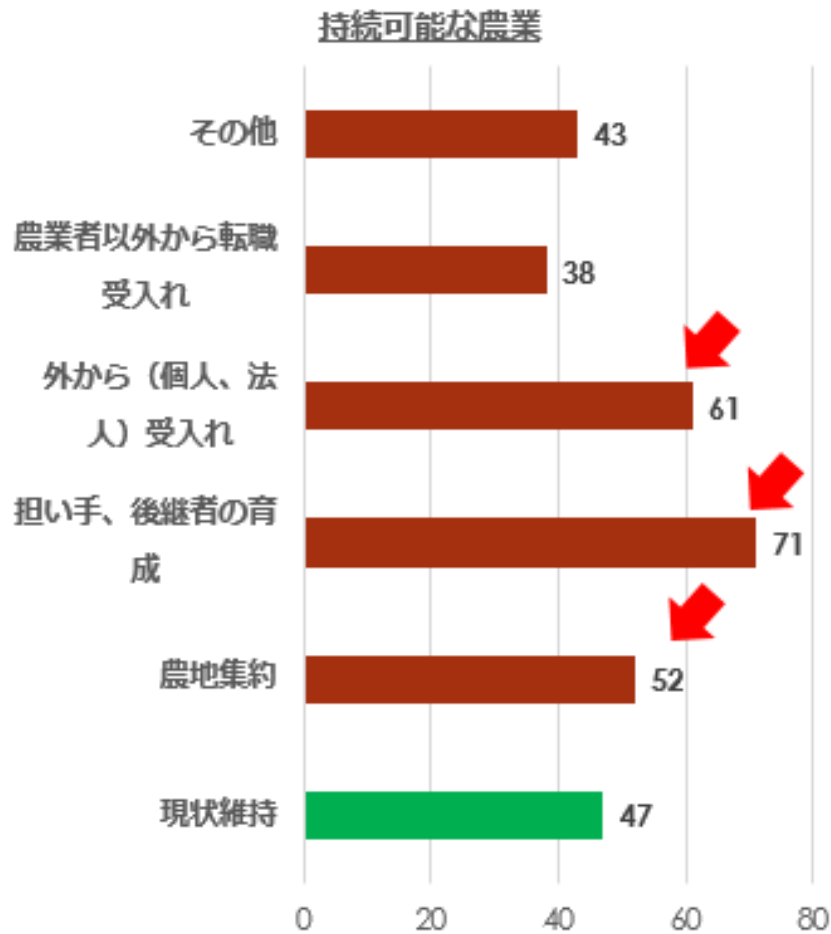


山北地区

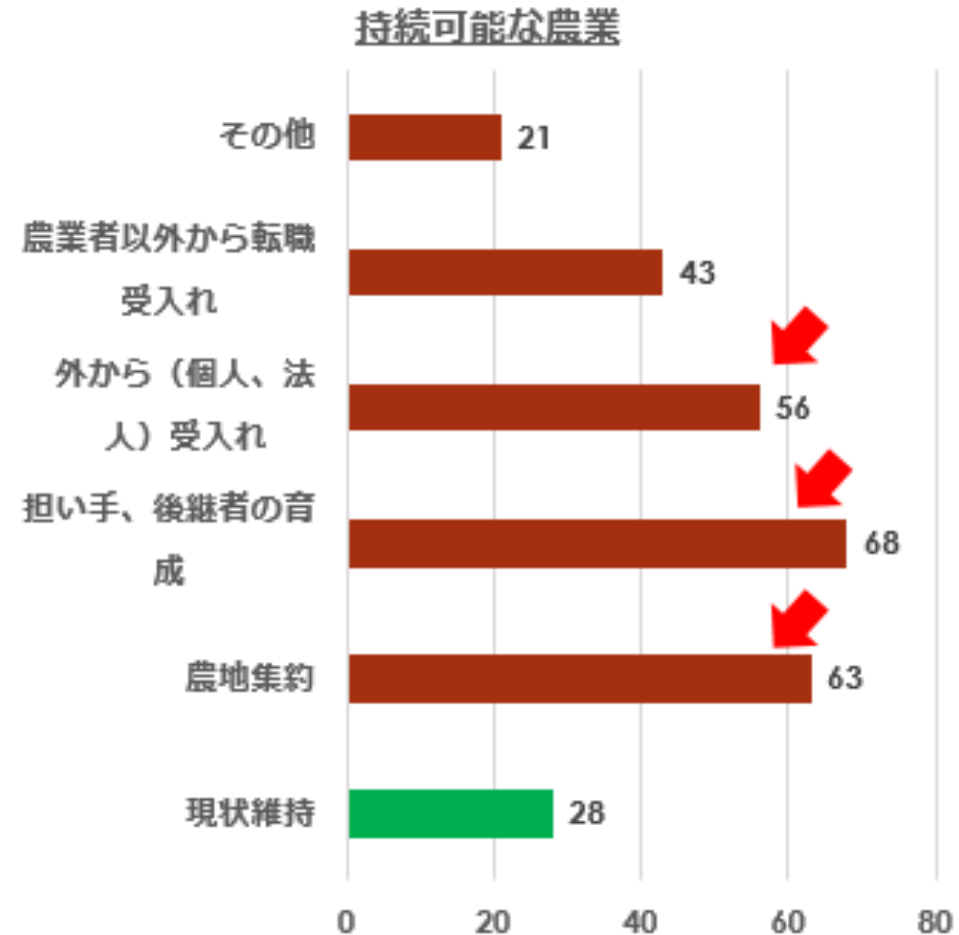


地域の農業が5~10年後も持続可能なものとするために

山南地区



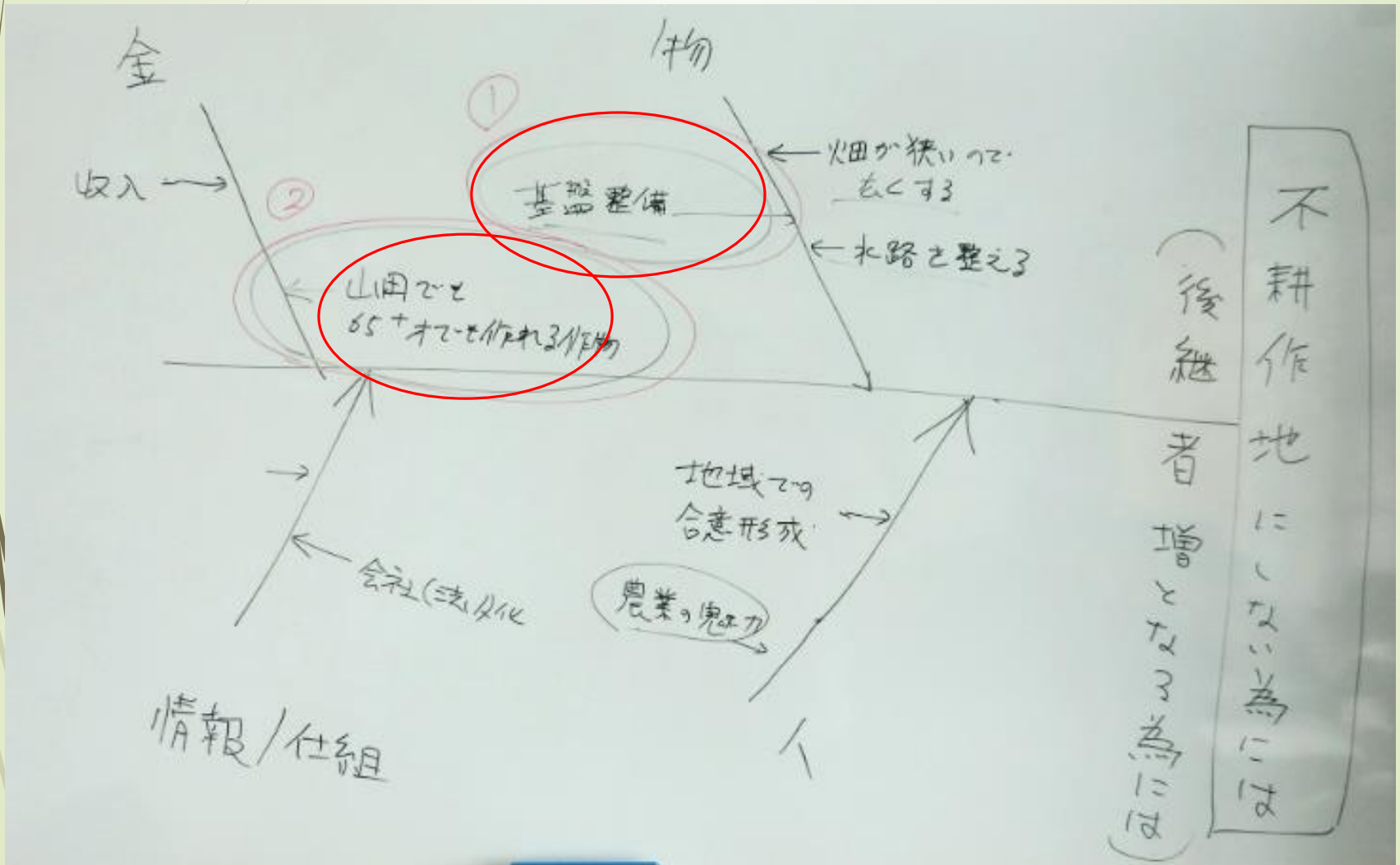
山北地区



農業委員/推進委員の方々との話し合い (2/12)

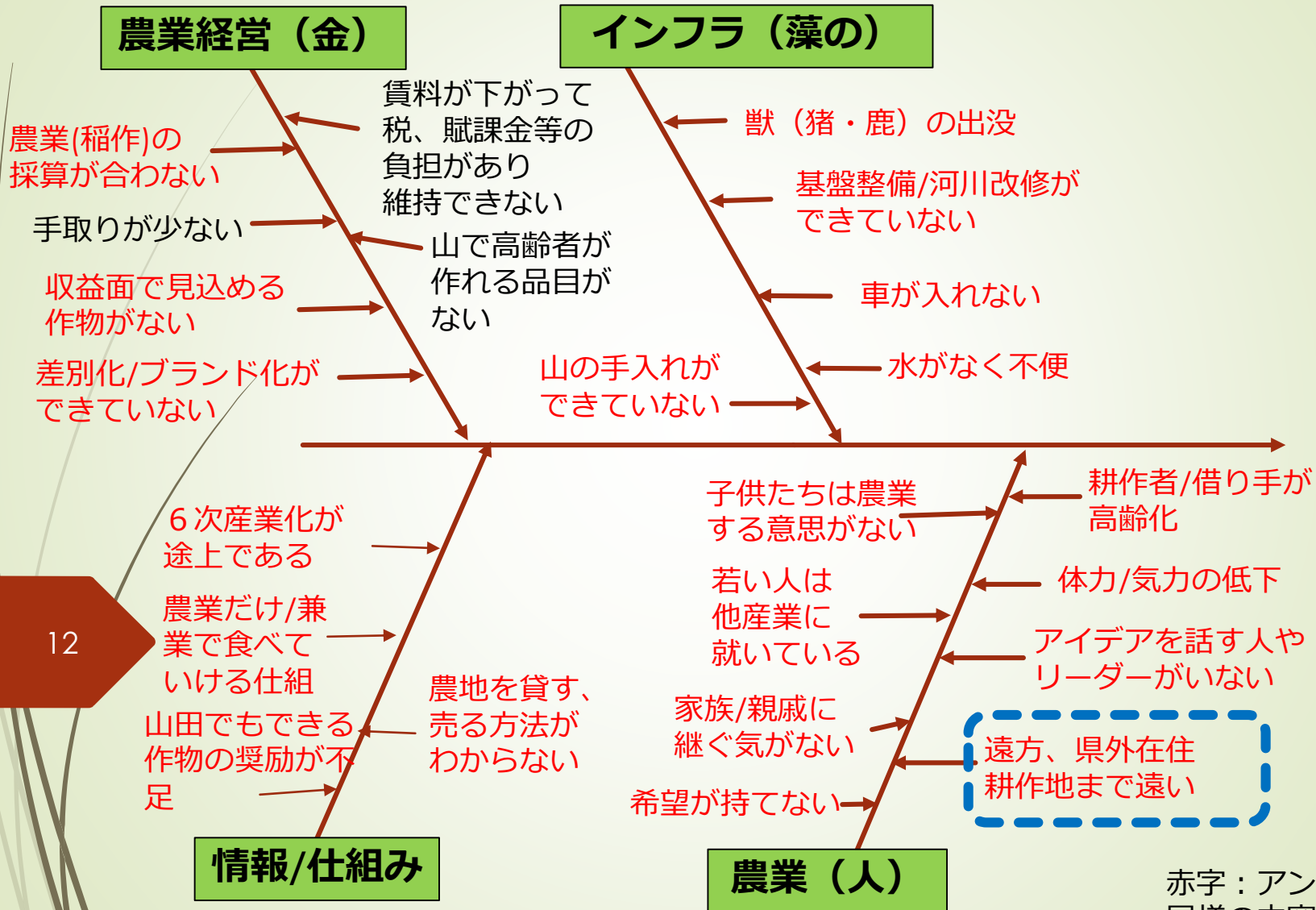
11

■ 地区の耕作放棄地の発生を防ぐための項目/施策内容の検討



地区の課題の要因

■ 結果に至る原因を人、モノ、カネ、情報の4要因に分解



なぜ不耕作地が増加するのか

赤字：アンケートに同様の内容の記載あり